

平成28年度 決算 のお知らせ

7月19日(水)に開催されました第164回組合会において、平成28年度の決算が可決承認されましたのでその概要をお知らせします。

平成28年度決算のポイント

保険給付費、納付金等の減少により黒字決算

決算概要

皆さんの毎月の給与や賞与から納めていただいた保険料収入は、被保険者数の減少により前年度に比べ、8,077万1千円減収の32億8,029万8千円となりました。

支出では、皆さんの医療費などに充てられる保険給付費は前年度に比べ1億1,866万6千円減の14億4,804万2千円となりました。

高齢者医療を支えるために支出する納付金等も前年度に比べ1億5,124万5千円減少しましたが、その内訳を見ると後期高齢者支援金は微増となっており、今後も注視していかなければならない項目であることには変わりありません。

皆さんの健康増進を支援する保健事業費には2億5,089万1千円を支出し、各種検診や健康相談事業、Smart Life Pointなど、諸事業を継続実施しました。

平成28年度は、保険料収入の減少を保険給付費および納付金の減少がカバーした形になり、収支差引額で7億5,544万3千円の黒字、組合財政の健全性を示す経常収支差引額で見ても、3億948万6千円の黒字決算となりました。

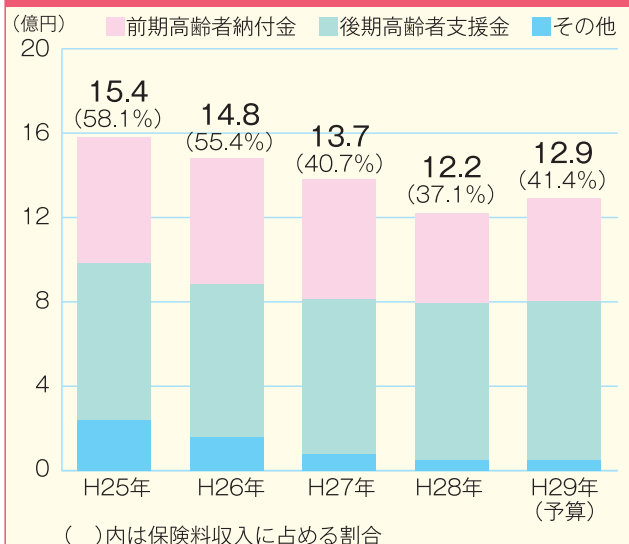
健康保険組合を取り巻く状況

全国に約1,400ある健康保険組合の2017年度予算早期集計結果が先日公表されましたが、予算の収支は全健康保険組合の総額で前年度の赤字額の倍以上となる3,060億円という赤字です。その大きな要因は、前期高齢者納付金、後期高齢者支援金等の高齢者医療費への負担額が約2,400億円も増えたことによります。この結果、保険料収入に占める高齢者医療への納付金等が50%以上の健康保険組合が331組合にも上っています。納付金等が保険料収入の50%を超えると、保険給付費と合わせた額が保険料収入を上回ってしまうこともあり、健康保険組合が存続できない事態にもなりかねません。

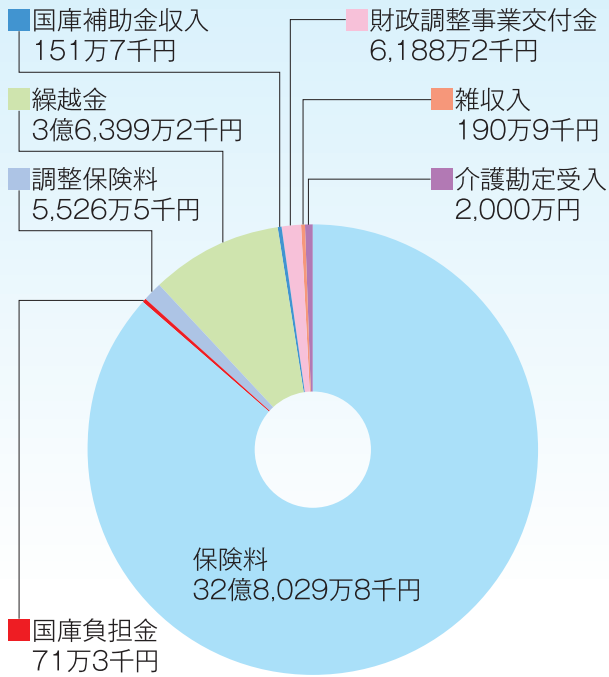
当組合においても平成28年度まで納付金は減少してきましたが、平成29年度予算では増加に転じると試算されています。納付金、保険給付費が増加していけば、再び赤字に陥ることも考えられます。

健康保険組合としましては、一層の効率化を図ると共に、引き続き皆さんの健康増進施策に力を注いでまいります。皆さんにおかれましては、各種検診などの保健事業を積極的に活用し、健康な体づくりにお役立ていただきますようお願いいたします。

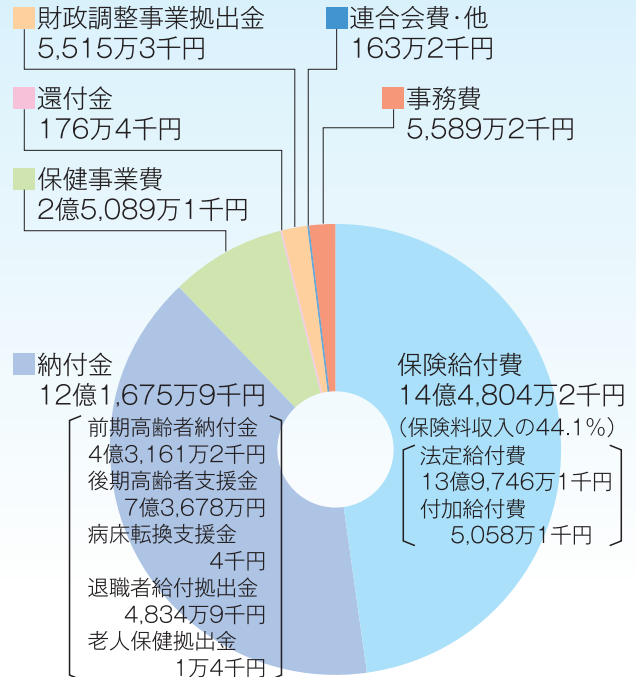
当健康保険組合の納付金の推移



収入合計 37億8,557万6千円



支出合計 30億3,013万3千円



平成28年度 決算額

収入合計	37億8,557万6千円
支出合計	30億3,013万3千円
収入支出差引額	7億5,544万3千円
經常収支差引額	3億948万6千円

健康 保険



決算基礎数値

被保険者数	4,726人 (男性 3,563人) (女性 1,163人)
平均年齢	43.61歳 (男性 44.42歳) (女性 41.09歳)
被扶養者数	5,969人
前期高齢者加入率	0.586784%
保険料率 (調整保険料率含む)	83.00/1000 (事業主 51.00/1000 被保険者 32.00/1000)

介護 保険



決算基礎数値

介護保険第2号 被保険者たる被保険者数	3,013人
介護保険料率	12.00/1000 (事業主6.00/1000 被保険者6.00/1000)

決算の概要

(単位:千円)

収入	科目	決算額
	介護保険料	357,652
合計	357,652	

支出	科目	決算額
	介護納付金	304,499
介護保料還付金	255	
一般勘定繰入	20,000	
合計	324,754	